

総務委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和6年1月25日 開会 午前 9時57分 閉会 午前 10時50分
2 会議の場所	第1委員会室
3 出席者	委員 委員長 安井 忠 副委員長 山内 房壽 猫田 孝 尾藤 義昭 伊藤 正博 野島 征夫 高殿 尚 黒田 芳弘
	執行部 別紙配席図のとおり
4 事務局職員	総務課長 桂川 義彦 議事調査課長 若野 明 主査 横田 直道 係長 佐藤 由子

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	県政情報の発信におけるSNSの活用について	
2	その他	

6 議事録（要点筆記）

○安井忠委員長

それでは、ただいまから総務委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。それでは、県政情報の発信におけるSNSの活用について、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶：高橋秘書広報統括監）

（執行部説明：瀬川広報課長）

○安井忠委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。質疑はただいまの議題に直接関わるもののみとし、一問一答でお願いします。

○黒田芳弘委員

本県のSNSは、フォロワー数・登録者数がFacebook約3,500人、YouTube約2,400人、X（旧Twitter）約800人とのことだが、これらは他県と比較して多いのか。

○瀬川広報課長

近隣県と比較して、Facebook及びYouTubeはほぼ同程度。X（旧Twitter）については、開設から間もないことから、まだ少ない状況。

○黒田芳弘委員

本県のSNSを広めていくには、フォロワー数等を増やしていくことが必要ではないか。

○瀬川広報課長

今年度設けた、各部局の広報担当者による「SNS研究会」において、効果的なSNS活用について研究するとともに、外部有識者から具体的にコンテンツを評価してもらうなど、閲覧者数及びフォロワー数増加に向けて検証を進めていきたい。

○高殿尚委員

本県のSNSの閲覧者について、世代、性別、圏域、傾向などのデータはあるか。

○瀬川広報課長

具体的な閲覧者の分析までは至っていないが、近年普及したSNSについては広報手法が確立していない部分もあるため、SNS研究会等における検証を進めるなど、日々改善に努めていく。

○高殿尚委員

発信する情報には、知事会見など緊急性のある情報や、定例的なイベント、単発なイベントなど様々あるが、情報によって発信の仕方や考え方はあるのか。

○瀬川広報課長

知事記者会見では、全ての発言を配信できるようYouTubeを用い、単発のイベント募集などは、即時性や拡散性の高いXを、事後広報としての情報提供は、情報量の多いFacebookで情報発信に努めるなど、SNSの特徴を生かして広報を展開している。

○高殿尚委員

「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭のSNSが昨年7月から開始されているが、来年度の開催に向けて、情報発信の方向性、考え方を教えてほしい。

○瀬川広報課長

来年度は文化イヤーであり、「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭を中心に文化の発信を進めていくため、SNSだけでなく、新聞、テレビ、広告、さらにはGALLERY GIFUの活用など、あらゆるコンテンツにて発信していき、文化イヤーを盛り上げていきたい。

○伊藤正博委員

全体としてのSNSに関する総合的な戦略・方針について、どのように考えているか。

○瀬川広報課長

SNS研究会において効果的なSNSの活用について研究を進めているところであり、こうした検討を通じて、県としての方針を固めていきたい。

○伊藤正博委員

SNSを活用した広報は今後さらに大事になってくると思うので、短期、中長期も含めて、県の戦略としてしっかりと作っていただきたい。

○安井忠委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、質疑を終了する。

続いて、「その他」の報告事項として、「能登半島地震における本県の支援対応について」、執行部の説明を求める。

(執行部説明：海蔵危機管理部次長兼岐阜地域危機管理監)

○安井忠委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。質疑はただいまの議題に直接関わるもののみとし、一問一答でお願いします。

○尾藤義昭委員

能登半島地震、鳥インフルエンザ、大雪への対応と危機事案が続く中、執行部の迅速な対応に感謝申し上げます。

三重県松坂市はDMATの活動車両として救急車を使用していた。県内で同様の車両の購入を希望する病院があれば、県に何らかの支援を行っていただきたい。

○横山防災課長

DMATが使用する車両の補助金については、健康福祉部で補助制度を持っていると聞いている。

○尾藤義昭委員

県の補助金（H20岐阜県市町村振興補助金）を活用して関市に配備した「あんしん号」が出動した。あんしん号の後部座席は、診察や点滴が受けられるようになっており、現地の診療にも活用できるので、その機能を生かした運用を検討してはどうか。

○横山防災課長

輪島市は被害が大きく、大型バスの運行が困難な状況である。大型バスの運行ができる状況になれば、関市と協議しながら今後の運用を考えていきたい。

○尾藤義昭委員

県職員が支援している姿や被災地で活動している状況の写真などを、マスコミや県民に向けて発信してはどうか。

○横山防災課長

現地で活動している県職員から、避難所の支援状況や現地の写真などが多く集まっている。広報課と協議し検討していきたい。

○尾藤義昭委員

災害はいつ起きるか分からないと県民に気付いていただく良い機会だと思う。ぜひ検討をお願いしたい。

○安井忠委員長

質疑も尽きたようなので、本日の委員協議会を終了する。

常任委員会委員協議会(総務委員会) 配席図

令和6年1月25日

第1委員会室

